

「くりはら あれこれ てんこ盛りフェア 2022」が開催されました

5月21日(土)と22日(日)、イオンスーパーセンター栗原志波姫店の駐車場にて、「くりはら あれこれ てんこ盛りフェア 2022」が昨年引き続き開催されました。

「くりはら あれこれ てんこ盛りフェア」は、栗原市の物産品を中心に、近郊エリアの物産品を集めた展示販売会で、地域の農産・水産・加工品・工芸品等の販売が行われ、今回も朝早くから多くの方にご来場頂きました。各ブースで500円以上お買い上げの方には、地域物産品やノベルティグッズが当たる抽選券が進呈され、抽選会は大盛況でした。

また当日は、栗原市のマスコットキャラクターの「ねじりほんによ」が来場し、イベントを盛り上げていました。

7月13日(水)と14日(木)には、仙台市一番町一番街商店街にて、「くりはら あれこれ てんこ盛りフェア」の開催を予定しています。ぜひ、御来場ください。



令和4年度自動車税種別割の納付はお済みですか

自動車税種別割は、県税収入の約11%を占める基幹税目であり、県民の暮らしを支える貴重な財源となっています。

令和4年度の納税通知書は5月11日（水）に発送しており、納期限は5月31日（火）でしたが、もしまだ納付されていない方がいらっしゃいましたら、至急納付をお願いします。

令和3年度から導入された「スマートフォン決済アプリ」は、今年度は種類が増え、また、スマートフォン決済による納付のほかにも、金融機関窓口・県税事務所窓口、コンビニエンスストア、Pay-easy（ペイジー）、クレジットカード、口座振替とさまざまな納付方法がありますので、御都合のよい方法で納付することができます。

【納税証明書について】

継続検査等を受ける際には、運輸支局で納付の有無を電子的に確認できるため、未納がない場合には、納税証明書の提示を省略することができます。Pay-easy（ペイジー）、スマートフォン決済及びクレジットカードで納付した場合は、領収書や納税証明書は発行されませんので、納付後すぐに継続検査等を受ける場合や代行を依頼する場合で納税証明書の提示が必要な場合には、金融機関窓口、県税事務所又はコンビニエンスストアで納付してください。

詳しくは、納税通知書や同封されているリーフレットをご確認ください。

お問い合わせ：北部県税事務所栗原地域事務所 税務班 ☎0228-22-2123

考えよう！大人になるとできること、気を付けること

今年の4月から成人年齢が18歳に引き下げられましたが、社会経験がまだ浅い若い人たちが様々な勧誘のターゲットになることが心配されています。

一方で、高齢者の方の消費者被害・トラブルも後を絶ちません。

県民サービスセンターでは、5月の消費者月間に合わせ、5月11日から25日までイオンスーパーセンター栗原志波姫店のフードコートをお借りして、若者や高齢者の方に多く見られる消費者被害・トラブルの事例をパネルなどで紹介しました。

消費者被害・トラブルに遭わないために、私たち一人一人が契約内容などをよく確認し、気を付けることが大切です。



お問い合わせ：北部地方振興事務所栗原地域事務所 総務部 県民サービスセンター 消費生活相談窓口

☎0228-23-5700

パプリカの産学官連携によるスマート農業への取組

宮城県のパプリカの出荷量は、1,420t（平成30年産）と全国1位です。中でも栗原地域は、大規模施設によるパプリカの養液栽培を行っており、年間約1,100tを出荷する県内最大の産地となっています。

県では、パプリカ生産法人をはじめ、ロボット製造やシステム開発などを行う企業・大学・研究機関とともに、スマート農業技術を活用したパプリカの品質と労働生産性の向上や新たな流通体制を構築するプロジェクトに取り組んでいます。

プロジェクトに参画している栗原市高清水の(株)ベジ・ドリーム栗原では、カメラ付きのロボットが走行して動画を撮影、人工知能（AI）で着色程度別に果実の数を計測し、1～2週間後の収量を予測する実証試験に取り組んでいます。また、(株)ベジ・ドリーム栗原と県内2社のパプリカ生産法人が共通パッケージを作り、宮城県産パプリカのブランド力強化を図っています。

生産量やニーズの変化に対応できる生産体制の確立に向け、大規模生産者と産学官が一丸となって、パプリカのスマート商流の実現を目指します。



宮城県産パプリカ
の共通パッケージ



大規模施設での養液栽培

お問い合わせ：北部地方振興事務所栗原地域事務所 農業振興部 先進技術班 ☎0228-22-9404

上沼地区で高収益作物「そらまめ」の収穫が始まります

上沼地区（栗原市志波姫）では、区画整理工及び暗渠排水工を整備したほ場30aで高収益作物「そらまめ」の栽培に取り組んでいます。昨年11月に定植が行われ、その後順調に生育しています。下記の写真（左・中央）は、今年の5月上旬に撮影したものです。

栗原管内のそらまめは6月上～中旬に旬を迎えるため、父の日（6月第3日曜日）のおつまみとして重宝されます。収穫したそらまめは京浜市場に出荷されますが、栗原管内の直売所等でも販売されていますので、ぜひ、お買い求めください。



そらまめほ場



そらまめの花



そらまめ（令和3年度撮影）

お問い合わせ：北部地方振興事務所栗原地域事務所 農業農村整備部 管理調整班 ☎0228-22-2398

深山牧野で牛の放牧がはじまりました

令和4年5月24日・25日、今年も栗原市栗駒にある市営深山牧野で牛の放牧が始まりました。当牧場の放牧期間は5月から10月まで、秋の下牧まで追加入牧の牛を含め100頭以上の黒毛和種の繁殖雌牛が放牧されます。牛たちは健康状態や繁殖ステージ毎に群分され、徐々に環境の変化に慣らしてから広大な牧野に放牧されます。入牧当日は初めての環境にとまどう牛、ひさしぶりの牧野を颯爽と駆け回る牛など様々でした。

牧野を駆け回ることにより、運動不足の解消や太り気味だった牛は無理なくダイエットができるなど、放牧は牛の足腰を強め、健康で丈夫な牛づくりに大きな役割を果たします。

牛たちは今後、栗駒山を背景に、栄養満点な牧草をたくさん食べて、健康で丈夫な体となり、畜主(飼い主)さんの元に帰るまで、数ヶ月間ゆったりと過ごします。



お問い合わせ：栗原地域事務所 畜産振興部 畜産振興班 ☎0228-22-2487

農林産物の放射能測定結果についてお知らせします

令和4年2月22日から令和4年5月18日の間に検査・公表を行った農産物2点、こごみ14点、原木しいたけ6点については、すべて基準値(100ベクレル/kg)以下で、安全性に問題がないことが確認されました。

なお、今回調査した品目のうち、栗原市のこしあぶら、たらのめ(いずれも野生)及び原木しいたけ(県の管理計画に基づいて生産されたものを除く)と一部地域のたけのこについては、現在も国の出荷制限指示が継続されており、出荷制限解除に向けたモニタリング検査が継続して行われています。(詳しくは林業振興部へ)

○検査品目及び検査点数

品目	施設	野生	品目	露地	野生	備考
きゅうり	1		原木しいたけ	6		一部解除
トマト	1		たけのこ		32	一部解除
こごみ		14	たらのめ		21	出荷制限中
			こしあぶら		10	出荷制限中

お問い合わせ：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 農業振興部 先進技術班 ☎0228-22-9404
林業振興部 林業振興班 ☎0228-22-2381